



別所だより

横浜市立別所小学校 令和5年2月21日発行



副校長 山中 智恵

まちとともに育つ子どもたち

3年3組の教室には、「別所かるた」と題して大きな模造紙に子どもたちの手作りかるたが掲示してあります。そこには、子どもたちが別所のまちで「体感」した別所のよさが溢れていました。

「そよそよと みやさかの風 気持ちいいな」

「坂の上 たいへんだけど いいけしき」

地域に誇りと愛着をもつことのできる美しいまちをつくり、育て、次世代へと伝えていくには、子どもの頃から身近なまちや良好な景観に対する意識を高め、磨くことが大切です。そのためには、小学校で景観まちづくりについての学習機会をもつことが有意義であると考えられており、今年度別所小学校では、3年3組と6年2組が一般財団法人都市文化振興財団より「景観まちづくり学習」に取り組むための費用助成を受けています。子どもたちの好奇心と感動する心を育む体験的な学習を行ったり、多くの人とのコミュニケーションを通じてまちや暮らしに愛着をもてる地域を舞台とした学習を行ったりすることで、総合的な学習の時間の取組が発展的に展開することが可能となりました。6年2組では、「まちの魅力を伝えるウォークラリー」をWebで作成し、10月、12月、2月に「まちの輝きを再発見してもらいたい」、「別所に暮らせてよかったと思ってもらいたい」、「コロナ禍での運動不足を解消してもらいたい」という目的のもと、ウォークラリーを実施しました。

自分づくり(キャリア)教育の取組

「はまっ子未来カンパニープロジェクト」とは、企業・地域等の方々と横浜の子どもたちが連携し、「商品開発・販売」や「地域課題の解決」に関する学習を行う中で、子どもたちの社会参画に対する意識を高める「自分づくり(キャリア)教育」の事業です。これからの時代を担う子どもたちに必要な資質・能力の育成のためには、学校と社会との連携や協働が必要不可欠です。日本の教育が大きく変わるこの時期に、横浜のまちで、大人と子どもが協働し、課題解決していくこのプロジェクトがもつ意味は、これからますます大きくなると考えられています。別所小学校では、6年1組、5年1組、4年2組が本プロジェクトに参加し、2月15日には、市内の子どもたちとオンラインで実践を交流し合いました。

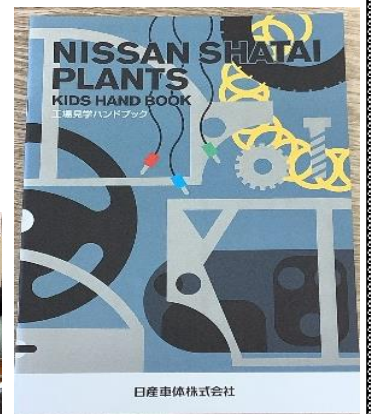
5組 八景島シーパラダイス遠足

2月9日(木)に、個別級で3年ぶりとなる校外学習(八景島シーパラダイス)へ行きました。グループに分かれてウォークラリーを行ったり、海の動物たちのショーを見たりしました。お昼ご飯は今回のめあてである「買い物の仕方を覚えてお昼ご飯を買おう」にむかって事前に食べるものを決め、当日は全員が自分でお金を出して好きなご飯を食べることができました。今回の学習で学んだことを今後の学校生活に生かしてほしいと思いました。



5年 日産自動車オンライン見学

1月26日(木)に日産自動車オンライン見学を行いました。実際に工場で自動車が作られているところや、さまざまな種類の車が走っているところを見ることができ、子どもたちも興味が湧いている様子でした。また、オンライン見学の終盤には見学してきた中で疑問に思ったところを質問するなど前向きに取り組む様子も見られました。



縄跳び 記録会

縄跳び記録会が学年ごとに行われました。なかよし活動のグループに分かれ、1年生は6年生、2年生は4年生とペアになり、上級生に測定してもらいました。縄跳び練習カードが配られ、運動委員会の「別所の花火を打ち上げろ! ナフトビー色塗り大作戦!」の企画等で中休みに練習に取り組んでいました。縄跳びが苦手な児童も友達と一緒に頑張れるようで、上級生に跳ぶコツを教えてもらったり、回数を競い合ったりしていました。本番では、3分間で練習の成果を出し切り、良い結果を出せた児童の姿が多くみられました。また、拍手で応援を頑張る児童もいました。記録会後も、来年度の記録会での記録更新を目指して練習を続けていました。

